

旧秋元小学校複合整備地域準備会 中間報告

2021(令和3)年11月13日

1 はじめに ～地域準備会とは～

私たちは、今後、旧秋元小学校を拠点に取り組みられる地域活性化に向けた様々な事業を具体化し、その運営を考えていく為、市の呼びかけにより集まった、地域団体代表者、地区住民有志、市内外のNPO法人や民間事業者(合計36組42名)によって構成している会です。

令和3年3月に発足し、これまで書面開催2回を含む9回の会議を重ねてきました。また、「運営チーム」(いわゆる幹事会)やテーマ別の「グループ」を組織し、少人数での打合せ、オンライン会議、SNSを活用した意見交換にも取り組んできました。

本年12月までを期限として活動していますが、最終的なまとめを行う前に、清和地区の方をはじめとした多くの方から、ご意見をいただきたいと考え、この中間報告をまとめました。

2 取り組んでいること

〔議論の方向性〕

市の提示する「持続可能な地域づくり」「人がつどい、にぎわいが生まれる、持続可能な新たな地域の拠点」の具現化を図る。

〔私たちの議論のゴール設定〕

- ①複合整備された施設を拠点に、実際に行われる取り組み(事業・活動など)の内容の方向性を決めること
- ②実際に動く組織の方向性を決めること

今回の複合整備で、新しい地域の拠点には、清和公民館、清和行政センター、清和保育園、避難所の【行政機能】と、地域の交流や活性化を促進し、様々な地域の課題にアプローチし、清和を盛り上げていく【地域活力創造機能】の2つが導入される見込みです。

私たちは、この地域活力創造機能の部分に

ついて主に議論してきました。

その中で、清和地区の人口減少とそれに伴う様々な暮らしの課題に向けて、清和に住み続けたい、行ってみたい、住んでみたいと思える地域をつくるには、どのような取り組みが必要か、その取り組みの実現性や継続性をどのように考えるかなどを検討してきました。

3 地域活力創造機能

旧秋元小を拠点とする取り組み(事業・活動)の将来的なイメージを次のように考えました。

(1) 地域支え合い機能

地域社会の持続可能性に向けて、地域や暮らしの課題に対して「支え合い」の考え方でアプローチする。

草刈りや電球交換、買い物など、高齢世帯のちょっとした「お困りごと」のサポートや、役員の担い手不足による地域活動の停滞を防ぐため、地域内の各種団体の事務をサポートする取り組みなど。

(2) つながる機能

施設利用者同士のつながりや、施設利用者と地域とのつながりをつくることで、人を介した清和の活性化を図る。

地域各種団体、施設を定期的に使っている団体、特に地域外からレンタルオフィス・コワーキングスペース・郷の図工室などを利用している方に呼びかけを行い、情報交換の機会を設ける。

(3) 学び・育ち・健康機能

「学び舎」であった施設の経緯を活かし、子どもから大人までの幅広い年代層の「学び・育ち・健康」に焦点をあて、各種事業に取り組む。

清和地区の主に大人を対象にしたカルチャー教室や、放課後の子ども対象に宿題や遊び、体験教室などを実施する活動、高齢者の健康増進活動など。

(4) 地域振興機能

清和地区内の各種の団体活動を支援するとともに、個人・組織を問わない経済活動との連携や、事業支援を図る。

清和地区各地で展開される地域活動やイベントに対し、HPやSNSを通じた一括してのプロモーション、受付代行や取り次ぎ、情報提供などを行う地域企画サポート事業や、地区内の個人・団体・事業者から出品を募り、一括したECサイトで販売を行う清和製品のオンラインショップなど。

(5) 飲食機能

地域住民のコミュニケーションの場、施設利用者の利便性向上、来訪者や観光客の立ち寄りの呼び込みの場として運営を図る。

地元野菜などを活用し、テイクアウト・総菜販売も行うカフェスタイルの店舗や、キッチンカー・フードトラックの招致など。

(6) 販売機能

清和の地域資源や魅力を活かした事業展開を行い、地域全体の利益につながることを考慮して取り組む。

地域産の農作物やパン、総菜、加工食品、施設関連品を販売するコーナーの設置や、教室のロッカーを再利用し区画単位で貸出す個人販売するショップ、イベント開催と合わせたマルシェやトラック市などの実施など。

(7) 呼び込み機能（観光・体験）

清和の「人」の魅力や、自然・文化などの地域資源を活用し、清和の魅力を伝え、交流人口から関係人口へ、そして将来的には定住人口につながるよう、地域外の人と清和の出会いの創出を図る。

清和の年中行事、作業、風習など「コト」を体験できる清和体験ウォークや、季節限定や週末に君津(清和)ならではの朝飯を屋外でつくり販売、サイクリングの拠点化、施設周辺や清和地区内の田畑を活用した稲作栽培や農園など。

(8) 歴史文化振興機能

清和地区の歴史・文化の継承を支援する。また外部への魅力発信に取り組むことで、清和に関心を寄せる人の増加を図る。

清和の観光マップづくりや、無形民俗文化財の情報発信への協力、清和の伝統・文化・昔話などを題材にしたボードゲームの製作など。

(9) ものづくり機能

地域の伝統的なものづくり、ハンドメイド作品、ICT技術を活用したものづくりの活動を組み合わせることにより、伝統技術の継承、ものづくりを介したコミュニティづくりや、自分でつくったものを、使う・売る・共有することを通じた新しい地域の魅力発信や個人ビジネス展開を支援する。

清和のものづくりについての技術を持つ方の情報収集や、施設を活用した各種のものづくり教室、ICT技術を活用した体験など。

(10) しごと場機能

整備されるコワーキングスペース・レンタルオフィス及びシェアキッチンを、住民の多様な働き方が実現できる場、大都市圏から適度な距離にある中山間地の特性を活かした外からの流れを呼び込む場として活用し、地域に「活力」「アイデア」「経済」の効果をもたらす。

各施設を活用した起業などの各種セミナーや地域連携の取り組みなど。

(11) 移住定住促進

清和地区の最大の課題である人口減少への対策の一つとして、清和地区に関心を持ってくれた方が少しでも清和に住み、暮らしやすくなるよう、地域のネットワークや生活との距離の近さを活かした各種事業に取り組む。

市の行っている空き家バンクを補完する取り組みとして、清和地区内の空き家についての情報収集と発信や、移住希望者の要望に合わせ、地域での暮らしの情報案内、先行移住者の紹介などを行う取り組みなど。

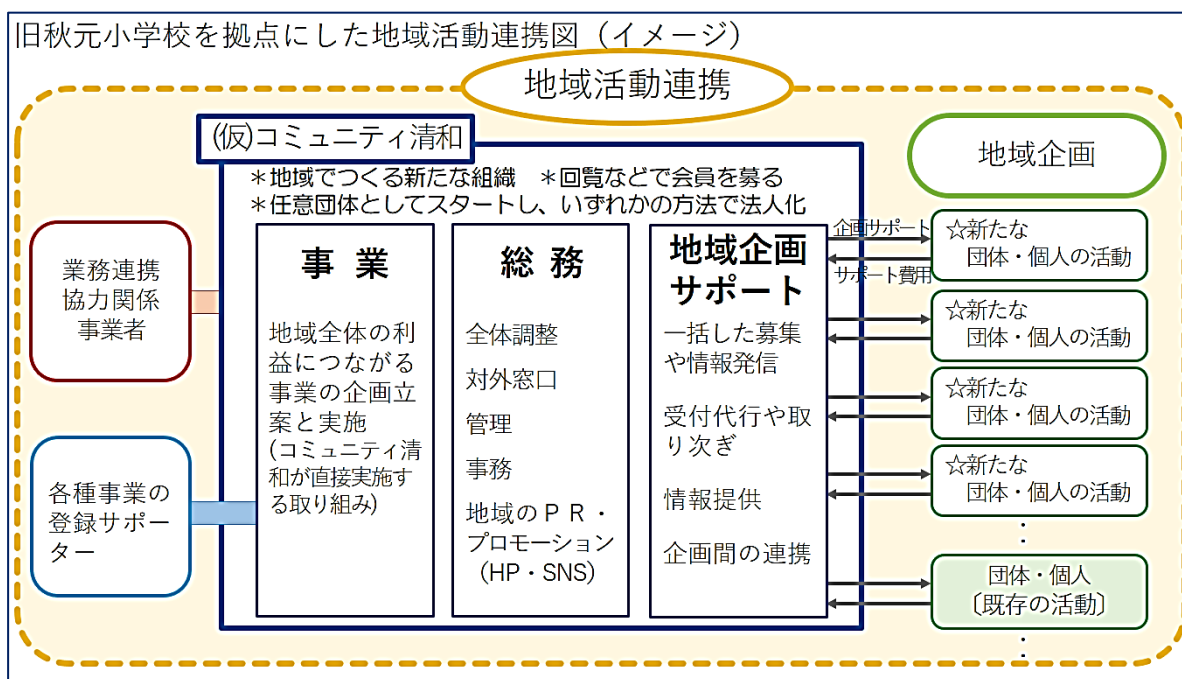
(12) 情報発信・地域プロモーション機能

各種取り組みの周知とともに、清和地区そのものの魅力を情報発信する。また、コロナ禍による価値観の変化を受け、集わずとも情報が得られ、必要な情報を基に目的(ゴール)を持って物事に取り組むことのできる地域コミュニティの向上を図る。

ホームページ・SNSによる情報発信や、広報紙の発行など。

4 旧秋元小学校を拠点に活動する新たな地域組織と各種活動のイメージ

旧秋元小学校を拠点に活動する地域組織と、上記の各種の取り組みや既存の地域活動も含めて、「地域活動連携図」としてイメージしました。



地域組織の名称は、仮称で「コミュニティ清和」としてあります。(仮)コミュニティ清和では、各種の事業、総務的な業務、地域企画のサポートを担います。清和で行われる色々な取り組みを、ひとつの「大きな括り」としていくことで、効果を高めることを目指したいと考えています。また、「組織」の利益だけではなく、「地域全体」の利益につながる仕組みづくりに取り組む考えです。

これまで地域準備会で議論してきたことを基に、旧秋元小を、清和の活性化や課題解決にむけた様々な取り組みと、その組織連携の拠点にしていこうと考えています。

なお、清和地区の皆さんに回覧などで地域組織（仮称「コミュニティ清和」）の会員を公募し、まずは任意団体としてスタート。いずれは何かしらの方法で法人化するイメージです。

募集しています！

地域準備会でこれまで検討・協議をしてきた、これらの企画やプロジェクトと一緒に取り組み、清和地区の活性化にむけて一緒に活動していただける方を募集しています。関心をお持ちの方は、ぜひお問合せ下さい。



●●●●● 連絡先〔地域準備会 事務局〕 ●●●●●

清和地区拠点施設整備推進室（市役所2階）

電話 0439-56-1541 メール seiwa-s@city.kimitsu.lg.jp →

もしくは、清和行政センター・清和公民館まで



参考：イメージ図（市公表の資料より）

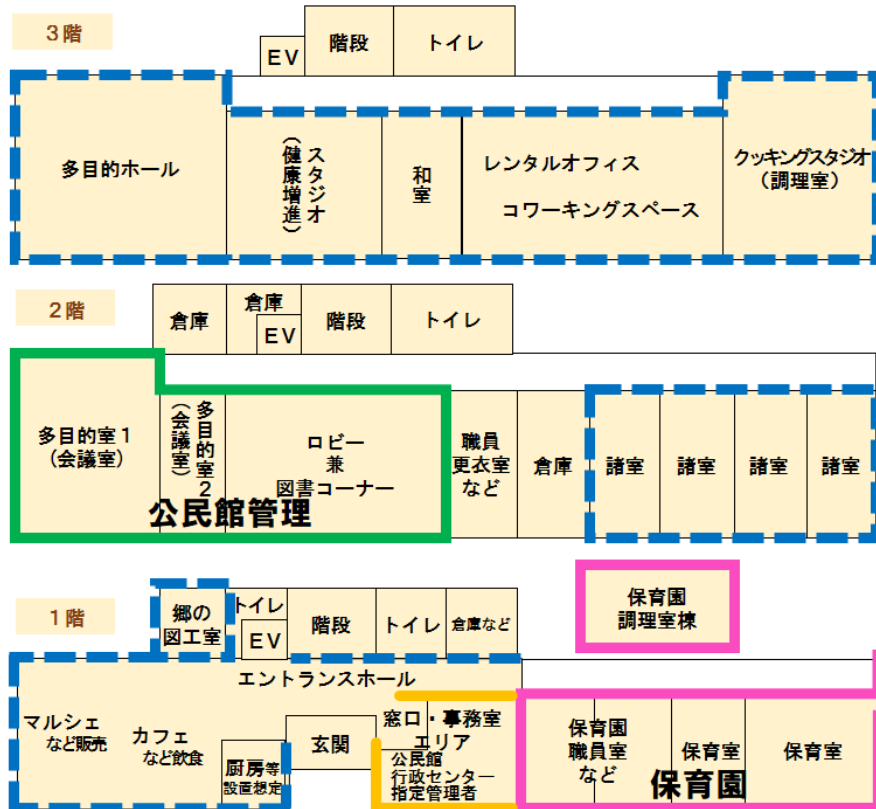
いずれも、今後の協議や検討を進めるうえでのたたき台の案であり、今後の協議の中で変更をする可能性があります。

屋外



※休憩所・トイレ・自転車置場等の設置は将来的に検討。

校舎内



※点線部分
公民館利用との共用する部屋と、それ以外の部屋を合わせて、指定管理者による管理・運営を今後計画。